

議会運営委員会行政視察（概要）

1 視察日

平成31年1月17日（木）～18日（金）

2 視察項目（視察都市）

- ・タブレット端末の導入について、議会改革について（東京都多摩市）
- ・タブレット端末の導入について、議会改革について（東京都立川市）

3 参加委員

委員長：安孫子浩子、副委員長：長谷川 浩

委員：畑中 剛、福丸 孝之、篠原 一代、坂口 康博

議長：桂 睦子

4 調査概要

多摩市議会では、議会でのペーパーレス化、立川市議会では、議員からのICT化の要望を受け、それぞれタブレット端末を導入されている。導入による効果としては各種通知のペーパーレス化だけでなく、議員への情報提供の迅速化、効率化や閲覧機能と携帯性に優れたタブレット端末とクラウドシステムの組み合わせにより、議員が議会や地域において議員活動を行う際に、タブレット端末があれば、資料の閲覧が可能となるなど、利便性が著しく向上している。

また、多摩市議会では、施策評価を4つの分科会で行っており、各分科会で評価対象施策を選定し、施策のうちから設定したテーマに沿って評価、評価対象事業テーマ達成のための優先度、選定テーマの実現に即した施策の分析、選定テーマから捉えた施策のさらなる推進に向けての提案をまとめている。



5 委員長所感

多摩市議会並びに立川市議会におけるタブレット端末については、タブレット端末を導入することで、議会質疑の際にタブレット端末を利用して図を提示しながら質疑ができるなど、利用の幅を広げることできると聞き、そういった利点なども考えながら、今後、取り組んでいければと考える。

また、多摩市議会の議会運営においては、決算から予算へと政策をつなげるという視点から、施策の評価シートを各分科会で年度ごとにテーマを決めて、改善点などの評価を実施。評価をするに当たり、議員間で取り組みをしたうえで実施されており、その内容を9月議会での決算特別委員会の時と合わせて議論を重ねているとのことであった。そして、改善点などの評価を出し、それについて3月議会での予算特別委員会の時にどのように改善して取り組んでいくのか、説明を受けるといった形をとっておられるとのことであった。この取り組みについては、本市議会でも前向きに取り組んではどうかという意見も出ており、今後の取り組みとしていければと考える。